

二〇二三年九月一六日

竹林をめぐる葉擦れも秋の声  
むべ

海原の漣さして月の道  
素秀

虚子句碑の建つ山門は竹の秋  
ぼんこ

萩叢をぬつと出できし庭師かな  
よう子

子規句碑を囲む萩むら花盛り  
たか子

白糸のごと瀬落としの秋の水  
むべ

網代張る大天井や夏座敷  
もとこ

かなかなや廓跡なる石だたみ  
もとこ

秋潮の藍深々と明石の門  
わかば

秋思憑く縁切り作法てふ札に  
なつき

定例WEB句会みのる選

二〇二三年九月一六日